



PROCESSION TO CALVARY, BY BERNARDO CAVALLINO, CHRYSLER MUSEUM OF ART

### 主は後戻りをされなかった

「**カ**ルバリと呼ばれた丘の上で、無力な弟子たちが見守る中、イエスの傷ついた体は十字架に釘で打ちつけられました。無慈悲にも、イエスは嘲笑され、ののしられ、あざけられました。……

苦悶の時間が過ぎ去り、イエスは死を目前にしておられました。イエスは乾き切った唇でこう言われました。『父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。』こう言ってついに息を引きとられ〔まし〕た。……

最後の瞬間に、主は後戻りすることもおできになったのです。でも、そうはされませんでした。すべてのものを救うために、すべてのものの下に身を落とされました。イエスのなきがらは急いで、しかし静かに借り物の墓に葬られました。』

トーマス・S・モンソン大管長（1927 - 2018年）  
『主はよみがえりぬ』『リアホナ』2010年5月号、89

### 主はこの業をなし得る唯一の御方でした

「**イ**エスが行われたことは、神のみがおできになることでした。肉体における御父の独り子として、イエスは神聖な属性を受け継がれました。イエスはこの世に生を受けた人の中で、この最も重要で神聖な業をなし得る唯一の御方でした。この地上に生きた唯一罪のない人として、イエスは霊の死に服従されませんでした。その神性により、肉体の死を克服する力も持っておられました。このようにして、イエスはわたしたちが自分ではできないことを、わたしたちのために行ってくださいました。イエスは死の冷たい縄目を解かれました。イエスはさらに、わたしたちが聖霊の賜物による、この上ない静かな慰めを得られるようにされたのです。」

大管長会第二顧問 ジェームズ・E・ファウスト管長（1920 - 2007年）  
『贖い—最も大いなる希望』『リアホナ』2002年1月号、20

**自分に当てはめる** —— 救い主は、その贖罪を通して死の縄目を解き、わたしたち皆を罪から贖い、すべての人が永遠の命にあずかれるようにしてくださいました。そのような困難で実現不可能な使命を果たすことができる人は、救い主をおいてほかにいませんでした。わたしたちは深刻な問題に直面するときに、救い主はほんとうに不可能を可能にすることがおできになるという知識から慰めを得ることができます。

THE BURIAL, BY CARL HEINRICH BLOCH

